

# 令和3年産水稻の生育状況と今後の対策 (水稻生育診断技術確立調査－6号)

農林総合研究センター  
令和3年6月28日調査

## 気象経過

<平年対比>

### 【平均気温】

- ・6月第4半旬は、金沢、輪島ともに並（平年差：金沢+0.1℃、輪島-0.1℃）
- ・6月第5半旬は、金沢、輪島ともに並（平年差：金沢-0.1℃、輪島-0.1℃）

### 【日照時間】

- ・6月第4半旬は、金沢、輪島ともはかなり少ない（平年比：金沢67%、輪島20%）
- ・6月第5半旬は、金沢、輪島ともはかなり多い（平年比：金沢157%、輪島181%）

### 【降水量】

- ・6月第4半旬は、金沢はかなり多く、輪島は多い（平年比：金沢220%、輪島127%）
- ・6月第5半旬は、金沢、輪島ともはかなり少ない（平年比：金沢15%、輪島1%）

### 【1ヶ月予報】

6月24日発表の1か月予報（6月26日～7月25日）では、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。週別の気温は、1～2週目は、平年並または高い確率40%です。3～4週目は、平年並の確率40%です。

## 生育概況等

### 【本田の生育】

#### 1. 出穂期予想

ゆめみづほの出穂期予想は、加賀地域で7月17～21日頃と平年に比べ並～1日程度遅く、能登地域（羽咋～中能登）は7月23日頃と平年並と見込まれる。

また、能登地域（奥能登～珠洲）の能登ひかりの出穂期は、7月23～25日頃と近年に比べ1日程度早くなると見込まれる。

#### 2. 葉齢

コシヒカリは、平年比-0.1葉（加賀地域±0.0葉、能登地域-0.3葉）となっている。コシヒカリの葉齢展開からみた生育の遅速は、平年に比べ1～2日程度遅いと見込まれる。

ひやくまん穀は、近年比-0.2葉（加賀地域-0.3葉、能登地域±0.0葉）となっており、葉齢展開からみた生育の遅速は、加賀地域では近年に比べ2～3日程度遅く、能登地域では近年並と見込まれる。

#### 3. 草丈

コシヒカリは平年比101%（加賀地域101%、能登地域101%）と平年並。

ゆめみづほは平年比104%（加賀地域102%、能登地域109%）と平年並。

ひやくまん穀は近年比102%（加賀地域97%、能登地域108%）と近年並で能登地域はやや長い。

#### 4. m<sup>2</sup>当たり茎数

コシヒカリは、平年比97%（加賀地域102%、能登地域89%）と平年並で能登地域はやや少ない。

ゆめみづほは平年比108%（加賀地域109%、能登地域108%）と平年並。

ひやくまん穀については、近年比102%（加賀地域：93%、能登地域：113%）と加賀地域と能登地域でやや差は見られるが、どちらも近年並となっている。

#### 5. 葉色（葉色板）

コシヒカリは平年比±0.1（加賀地域±0.1、能登地域±0.0）となっている。

ひやくまん穀は近年比+0.1（加賀地域+0.2、能登地域+0.1）となっている。

## ㎡当たり茎数（平年、前年）及び株当たり茎数

コシヒカリ	県平均	503本	（平年比 97%	前年比 103%）	28.3	本/株
	加賀	529本	（平年比 102%	前年比 112%）	29.8	本/株
	能登	464本	（平年比 89%	前年比 90%）	26.2	本/株
ゆめみづほ	県平均	608本	（平年比 108%	前年比 113%）	33.4	本/株
	加賀	615本	（平年比 109%	前年比 108%）	33.7	本/株
	能登	594本	（平年比 108%	前年比 124%）	32.7	本/株
ひやくまん穀	県平均	526本	（近年比 102%	前年比 101%）	27.9	本/株
	加賀	475本	（近年比 93%	前年比 101%）	25.4	本/株
	能登	589本	（近年比 113%	前年比 102%）	31.0	本/株

### 【病害虫の発生状況】

- いもち病の発生は確認されていないが、今後の発生はやや多と予想されている。
- 現在の雑草地における斑点米カメムシ類の発生は平年並であるが、斑点米カメムシ類の発生はやや多と予想されている。  
[病害虫発生病害虫発生予報第3号（令和3年6月17日付）参照]
- セジロウンカの初飛来（本田すくい取り）が6月21日（平年6月26日）に県内で確認されている。

### 当面の対策

#### 1. 早生

- 1回目の穂肥は、適期の幼穂長（ゆめみづほ：1～2mm出穂23日前、能登ひかり：2～3mm出穂20日前）を確認し、遅れずに施用する。  
ゆめみづほの穂肥については、葉色が濃いほ場（葉色板値4以上）や茎数が650本/㎡を超えているほ場では時期は遅らせず施肥量を減らして施用し、2回目は出穂7～10日前に基準量を施用する。
- 早生品種の穂肥施用後は根の機能を保持し、登熟を向上させるため、間断通水により土壌の飽水状態を保つ。

#### 2. コシヒカリ

- 出穂の早い加賀地域で下位節間の伸長、全県的には弱勢分けつの発生が懸念されることから、倒伏、過繁茂及び籾数過剰を防止し、登熟能力の高い稲体に誘導するため、7月5日頃まで中干しを継続する。**
- また、5月20日以降に移植されたほ場においては、7月第3半旬まで中干しを継続する。

#### 3. ひやくまん穀

ひやくまん穀の茎数を理想生育相と比較すると、加賀地域は概ね理想的～やや少ない、能登地域はやや多くなっている。

- 地力のある圃場（半湿田～湿田）**
  - 倒伏、過繁茂及び籾数過剰を防止し、登熟能力の高い稲体に誘導するため、**7月15日頃まで中干しを継続する。**
  - 既に十分な茎数を確保しており、今後発生する弱勢分けつを確実に淘汰する必要がある。能登地域では急激に茎数が増加しているほ場が見られ、早急な茎数抑制が必要である。
- 低地力の圃場（乾田）**
  - ㎡あたり茎数500本（約27本/株・60株植）未満の場合**
    - 葉色4.5未満（葉色板）の場合は**直ちに中干しを終了し、葉色の維持に努める。**
    - 葉色4.5以上の場合は中干しを継続するが、茎数450本以下の場合には葉色が4.5以上の場合でも中干しを終了する。
  - ㎡あたり茎数500本以上の場合**
    - 中干しを継続するが、中干しの程度を強くしない。

#### 4. 病虫害防除

(1) いもち病の発生は並と予想されており、一旦発生すると急速に進展する恐れがある。

**発生状況の把握に努め、発病が認められたら直ちに防除する。**

特に、いもち病の箱施薬が行われていないほ場、いもち病の常発地及び葉色の濃いほ場を中心に巡回を行ない、葉いもちの早期発見に努め、発生を認めたら直ちに防除を行う。

(2) **紋枯病については、前年発生した圃場、茎数の多いほ場では多発する可能性があるため防除を実施する。**

**薬剤によって防除適期が異なるので、使用薬剤の基準に従う。**

(3) 白葉枯病対策として、大雨により冠水・浸水したほ場では、できるだけ早くほ場の排水に努める。

(4) 斑点米カメムシ類の防除については、発生密度を下げるため、生息場所である農道、畦畔、休耕田および遊休地等の除草を徹底する。

除草を集落など地域全体で一斉に実施すると密度低下の効果が高い。

なお、刈り払った雑草は用排水路に入らないように注意する。

(5) 晩生品種のひやくまん穀の防除適期は予想出穂期に基づき設定し、中生品種のコシヒカリと異なることに留意して、基幹防除を実施する。

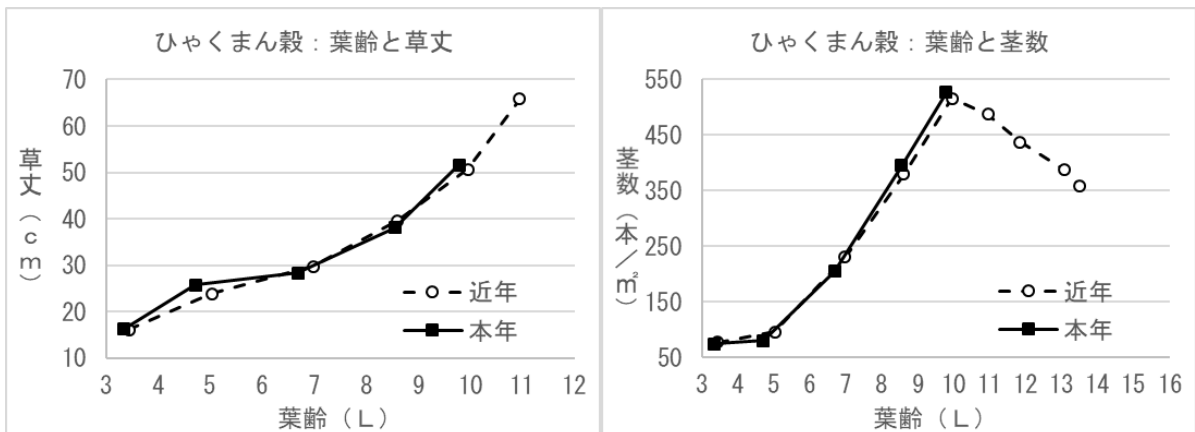
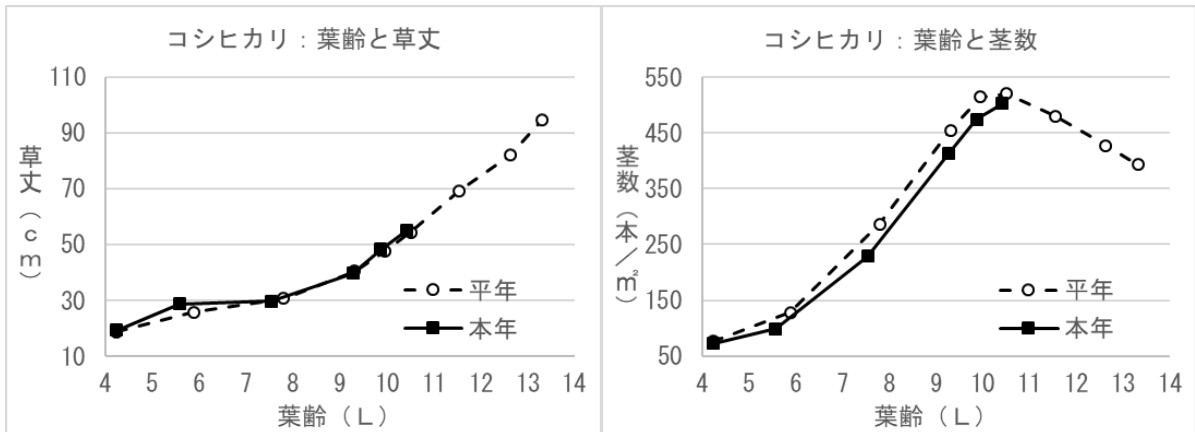
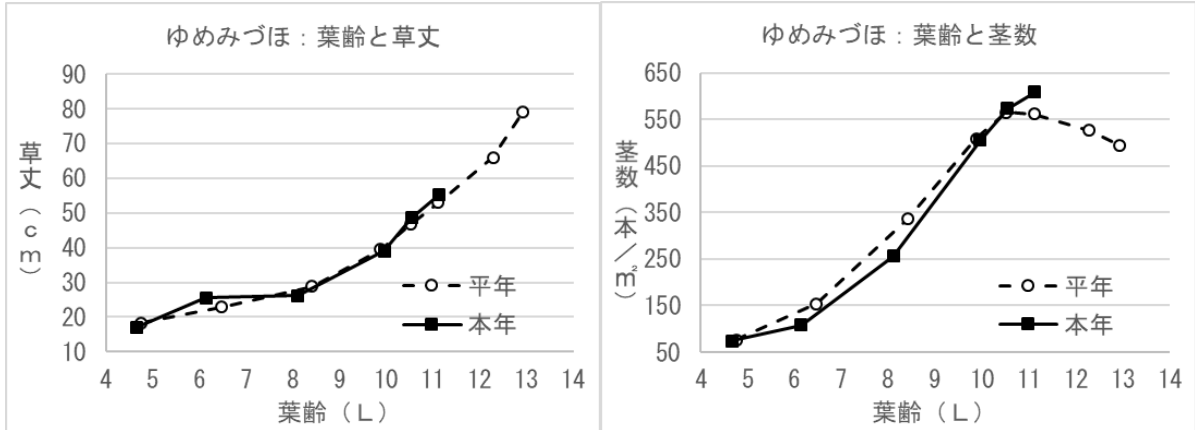
5. 今後の気温は、平年並～高い傾向が続くと予報されており、いずれの品種も出穂期が早まり、更に刈取適期も早まることが予想される。

品質低下を防止し、適期に刈取作業を終了できるように共同乾燥施設の稼働計画等の作成を行うこと。

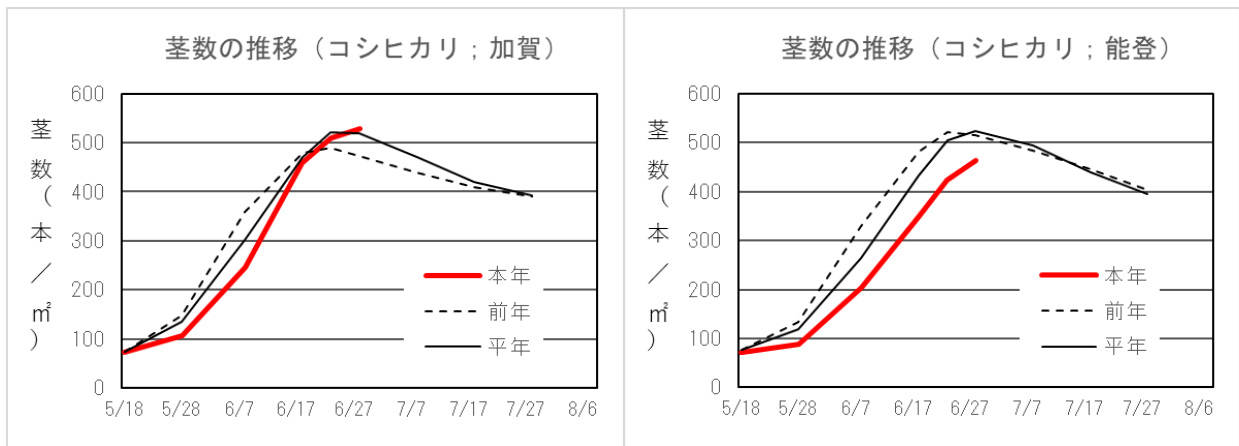
<参考：草丈の伸長および茎数の増加傾向>

葉齢を基に草丈の伸長および茎数の増加を平年と比較すると、

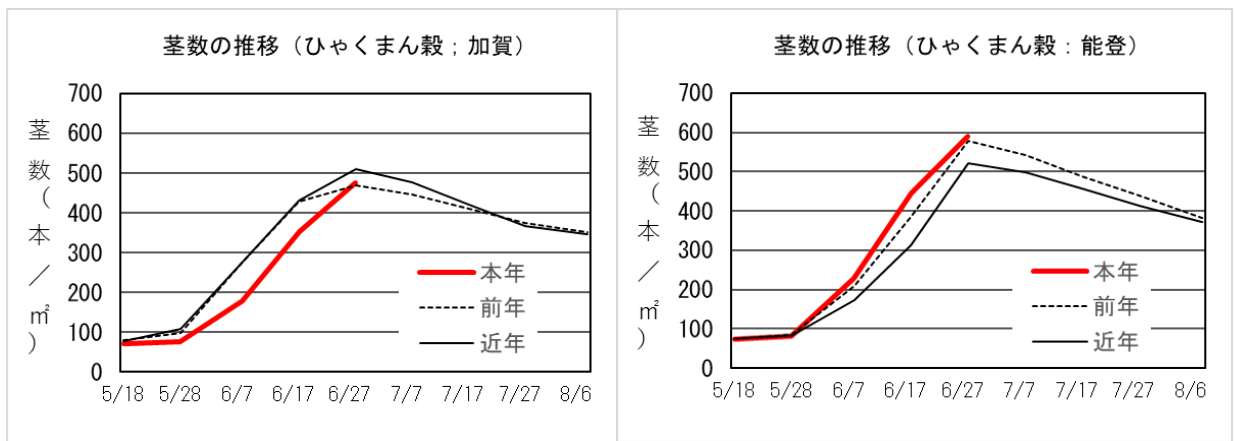
- (1) 草丈については、ゆめみづほ、コシヒカリともに平年並、ひやくまん穀は近年並となっている。
- (2) 茎数についても、ゆめみづほ、コシヒカリともに平年並、ひやくまん穀は近年並となっている。



- 調査日を基にコシヒカリの茎数増加を平年及び前年と比較すると、加賀地域では平年並で前年に比べやや多く、能登地域では平年及び前年に比べやや少なくなっている。  
また、最高分け時期については、加賀地域、能登地域とも6月27～28日となり、加賀地域では平年よりやや遅く、能登地域は平年並で、どちらも前年より遅くなった。

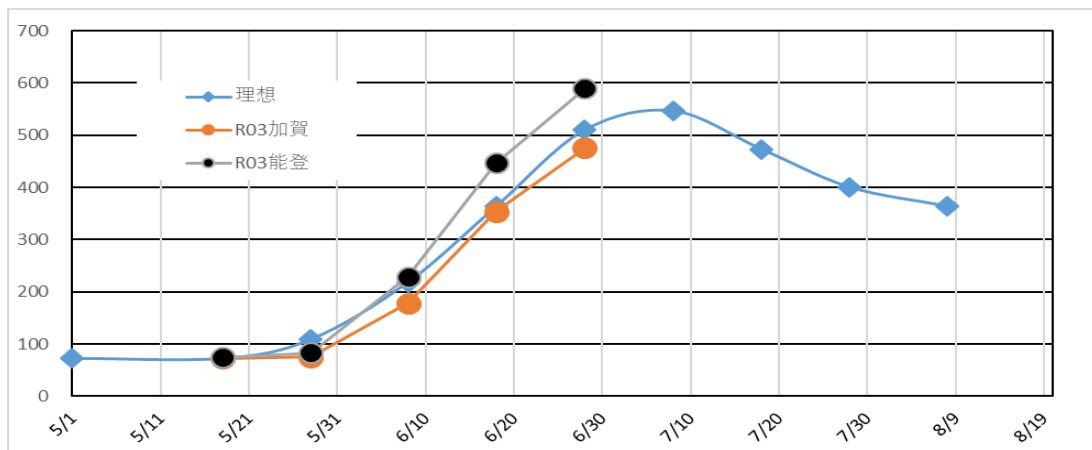


- 調査日を基にひやくまん穀の茎数増加を近年及び前年と比較すると、加賀地域では平年及び前年並、能登地域では近年よりやや多く、前年並となっている。

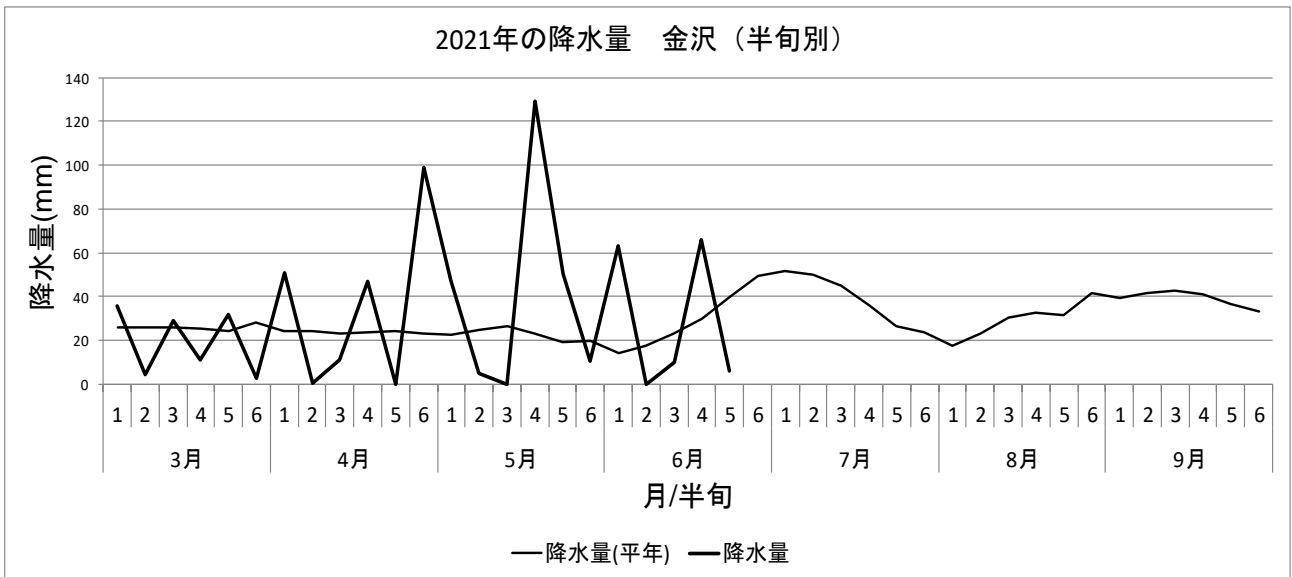
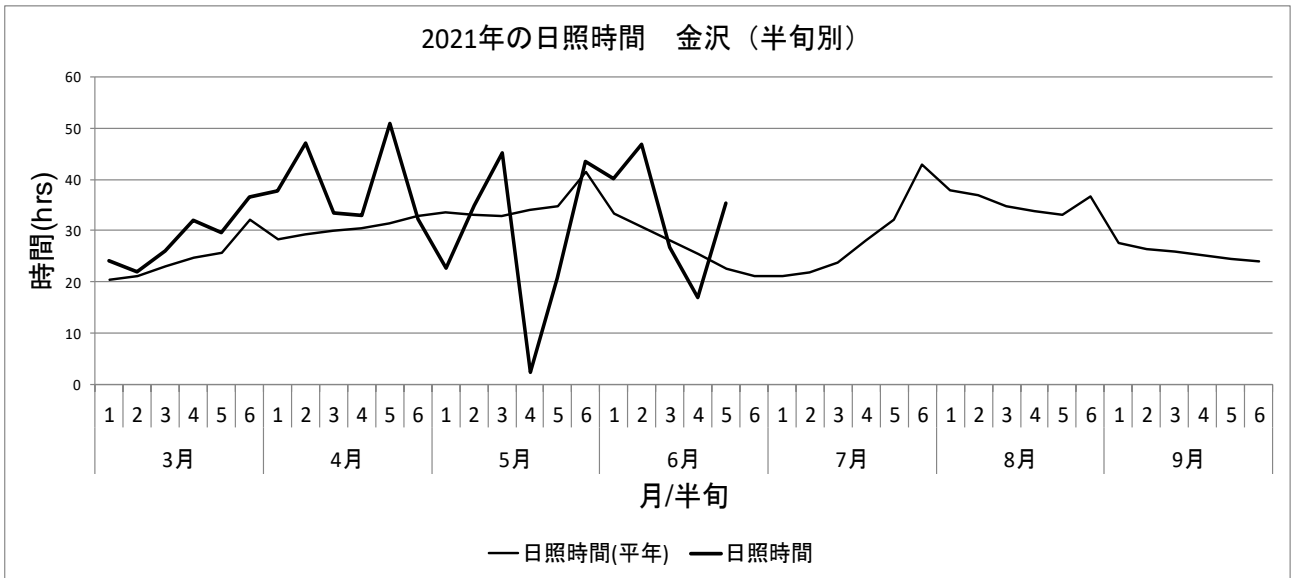
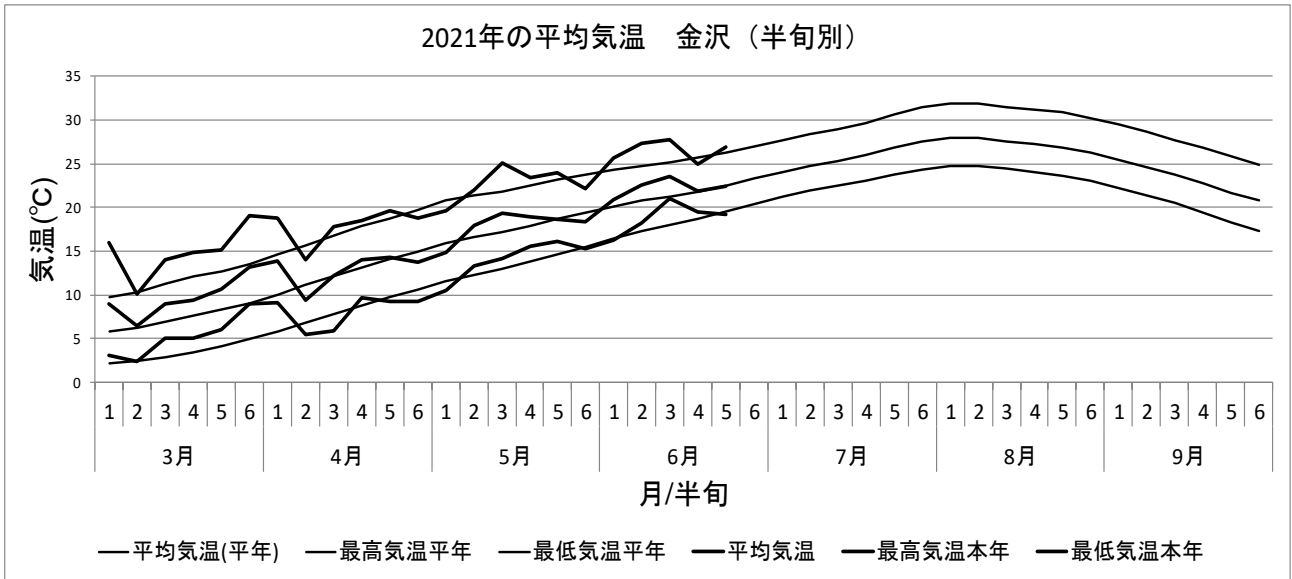


- ひやくまん穀の理想生育相と比較すると、加賀地域では並～やや少なく、能登地域では理想に比べやや多くなっており、加賀地域、能登地域のいずれも目標穂数360本/㎡は確保できる見込みである。  
ただし、茎数が少ないほ場では早めに中干しを終了し、通水管理が必要である。

ひやくまん穀の理想生育相（60株）との比較



# 気象経過グラフ (金沢気象台)



## 気象経過グラフ（金沢気象台）

